

# 子どもの放課後の過ごし方に関するアンケートの実施について

## 1. アンケートの趣旨

社会教育部では、国の放課後子ども総合プランを踏まえ、全児童を対象とした放課後対策の一環としての学校施設を活用したプログラムの充実について検討を進めています。その中身を検討するにあたっては、まずその参加対象となる児童の現在の放課後の過ごし方についての調査が必要と考えています。また、全児童を対象とした放課後対策として、今後実施したいと考えているスポーツ教室等の放課後のプログラムに対するニーズについて把握するとともに、今後入室が増加すると考えられる留守家庭児童会室に対するニーズの把握が必要と考え、児童とその保護者に対して、アンケートを実施します。

## 2. アンケートの対象

### (1) 対象決定の考え方

- ①小学校の施設を活用した全児童対象の放課後対策が主題となるため、対象を小学生とその保護者とする。
- ②地域ごと、学年ごと、児童と保護者、それぞれに特徴があると考えられるため、その特徴が把握できるようアンケート対象を選択する。
- ③効果的・効率的に集計作業を進めるため、アンケート対象は一定限定する。

### (2) アンケート対象

- ①小学2年生とその保護者  
市立全45小学校に対し、各1クラス（2年1組）に配付（約1,300世帯）
- ②小学4年生とその保護者  
市立全45小学校に対し、各1クラス（4年1組）に配付（約1,300世帯）  
→全約2,600世帯に配付

## 3. アンケートの手法

### (1) アンケート用紙（紙媒体）

- ①児童用（同内容で表現が異なる小学2年生用と小学4年生用の2種類）
- ②保護者用（1種類）

### (2) 作成・仕分け

社会教育課にてアンケート用紙を印刷し、各校分を各学年ごとに児童用・保護者用に仕分け

### (3) 配布・回収

連絡便にて各校に配布し、各校で全学年分回収しだい連絡便にて社会教育課に送付

### (4) アンケートの実施

- ①各学年中のアンケート実施クラスは、「2年1組」「4年1組」とする
- ②対児童

学級担任が児童に配布し、帰宅後期日までに記入して学校に持参するよう依頼する。児童一人での回答が難しい場合は、保護者がサポートするよう依頼する。

(期日までに回収できなかつたものは、無理に提出を求めず、回収できた分のみ社会教育課に送付する。期日以降提出のあつたものは、参考のため社会教育課に送付する)

③対保護者

学級担任が児童に配布し、帰宅後期日までに記入して学校に持参するよう依頼する。

(期日までに回収できなかつたものは、無理に提出を求めず、回収できた分のみ社会教育課に送付する。期日以降提出のあつたものは、参考のため社会教育課に送付する)

④アンケートに係る質問への対応

学級担任が判断できない質問等に対しては、社会教育課が直接対応する。

(アンケート用紙には、社会教育課の連絡先を記載)

## (5) 集計

①集計作業

社会教育課にて実施する。

①集計手法

a. 単純集計

b. クロス集計 (関連性が高いと想定されるもののみ)

## 4. 集計結果の分析及び公表

### (1) 集計結果の分析

①社会教育課職員が行う。

②分析結果に基づき報告書を作成する。

### (2) 集計結果の公表

①教育委員会協議会での報告

②市ホームページでの公表

③アンケート実施校には、全体集計と当該校の集計に分けて報告を行う。

## 5. スケジュール

平成 28 年 11 月	アンケートの実施・回収・集計開始
平成 29 年 1 月	集計完了
2 月	集計結果に基づく報告書作成
3 月	報告書の内容の教育委員会協議会での報告及び市ホームページでの公表

## 6. アンケート項目

### (1) アンケート項目の選定

社会教育課と放課後子ども課で調整後、関係課の意見を聞き決定する

### (2) アンケート内容

①【児童用】放課後の学校でどんなことがしたいかについてのアンケート

(内容は同じだが、質問の表現は 2 年生用、4 年生用それぞれに合わせた表現にする)

Q 1 : 学校名・学年・性別

Q 2 : 放課後 (月曜日～金曜日) の過ごし方

Q 3 : 休みの日 (土曜日・日曜日) の過ごし方

- Q 4 : 習い事
- Q 5 : 放課後や休みの日の友達との遊び
- Q 6 : 放課後の過ごし方におけるその事柄の頻度を上げたいか下げたいか
- Q 7 : 学校の中での新しい放課後プログラムの内容についての希望
- Q 8 : 新しい放課後プログラムの中のスポーツ体験における種目の希望
- Q 9 : 小学 5 年生・6 年生になったら留守家庭児童会室に行きたいか

②【保護者用】 学校施設の活用による全児童を対象とした放課後プログラムのあり方に関するアンケート

- Q 1 : 子どもの学校名・学年・性別
- Q 2 : 子どもの放課後（月曜日～金曜日）の過ごし方
- Q 3 : 子どもの休みの日（土曜日・日曜日）の過ごし方
- Q 4 : 子どもの習い事
- Q 5 : 習い事を通じて子どもに身につけてほしいこと
- Q 6 : 子どもの放課後の過ごし方におけるその事柄の頻度を上げたいか下げたいか
- Q 7 : 新しい放課後プログラム内容についての希望
- Q 8 : 新しい放課後プログラム内容のうち、スポーツ活動を行う場合の種目の希望
- Q 9 : 全児童対象の放課後事業を今後開始した際の子どもに参加させるかどうかの選択基準
- Q 10 : 小学 5 年生・6 年生を留守家庭児童会室に入所させたいか